

町長行政報告

町長 上村 清隆



湯沢町における年末年始6日間の入込み客数は、前年対比116・8%の26万8千人と好調な滑り出しとなりました。1月分の合計は99・9%の70万9千7百人とわずかに前年度を割り込んでしまいました。2月は休日の巡り合わせが悪く3連休がなかったことや、新潟県内の豪雪のニュースが全国に再三放送されたため、各スキー場の入り込みが伸びずに苦戦を強いられておりますが、今年は雪の量も十分にあることから、3月の追い込みに期待をしております。

2月18・19日にはFISフリースタイルスキー・ワールドカップIN苗場大会が開催され、多くの皆様のご協力とご支援により成功裡のうちに大会が終了いたしました。

湯沢町経済復興対策の一環として実施いたしました「元氣出そう湯沢！商品券」は、好評のうちに完売することができました。商品券の購入者は、町民が85%で町外者が15%という結果となり、商品券の業種別の利用実績は、小売業が60・3%、建設業の13・8%、宿泊・飲食業11・3%、自動車整備等8%と町内の全ての業種で利用され、12月14日に最後の換金が行われ清算を無事終わることができました。ご協力いただいた関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

湯沢町は柏崎刈羽原子力発電所から50km圏外ですが、1月12日に「市町村による原子力安全対策に関する研究会」への参加を決定し、1月16日に県内30市町村連名で新潟県に対し、「原子力発電所の安全等に関する要望書」を提出しました。また、2月9日に東京電力㈱と「東京電力柏崎刈羽発電所における事故等の通報連絡に関する協定書」を締結し、原発内で事故等が発生した場合は、東京電力から通報を受けることになりました。

FIS フリースタイルスキー・ワールドカップ IN 苗場大会



12月から降り続いた雪が積雪250cmを超えたことから、1月30日に豪雪対策本部を設置し、町内パトロール等の巡視強化等を図って参りました。この豪雪で1月31日には新潟県の災害救助条例が適用され、2月3日には新潟県に災害救助法適用要請を行い同日認可されました。これを受け、2月6日に町内会長会議を開催し、生活弱者に対する排雪作業に必要なバックホウ等の重機の借上希望を募り、15町内に貸与するとともに、生活保護法の被保護者・要保護者及び特定の資力のない高齢者等77軒の屋根除雪等を実施いたしました。

議会活動日誌

◆1月

4日／第1回議会広報常任委員会

5日／県町村議会議長会臨時総会

(新潟市)

10日／第7回湯沢町経済復興

対策委員会

13日／第2回議会広報常任委員会

17日／湯沢町新春賀詞交歓会

19日／第1回議員全員協議会

19日／第3回議会広報常任委員会

24日／国道17号湯沢塩沢道路整備

促進規成同盟会要望会

25日／第1回厚生福祉常任委員会

27日／第1回産業建設常任委員会

30日／湯沢町・南魚沼市議会議員

協議会「湯沢町評議員会」

30日／第1回議会運営委員会

◆2月

3日／シルバー人材センター市町

議会議員懇談会(南魚沼市)

7日／第1回総務文教常任委員会

17日／魚沼地域特別養護老人ホー

ム組合議会(八色園)

21日／新潟県町村議会議長会総会

(新潟市)